



下曽我小学校
学校だより

梅の香

令和8年7月17日
藤本 明美
No.4

ふるさと下曽我を愛する子

目標に向かって力を合わせる子

感謝と思いやる心を大切にする子

自ら考えて行動する子

*記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

◆特別な授業◆

出前授業や校外での学習は、子どもたちにとって特別な体験です。その道の専門の方々との出会いは、子どもたちの興味や関心を高め、自分事として捉えて考えるきっかけとなります。6、7月は、様々な特別授業が行われました。

4・5・6年女子「思春期の体の変化と下着について」

～ワコール～

子どもから大人の体型に変化する理由の説明の後、「友達と比べるのではなく、前の自分と比べる癖をつけてほしい。変化を前向きにとらえましょう」という講師のメッセージに、うなづく子どもたちの姿が印象的でした。授業では、様々な下着を実際に見て触れる時間がありました。成長段階や生活場面に合わせて下着を選ぶことが正しい姿勢や活動のしやすさにつながり、自分を守ること、大切にすることになることを学びました。振り返りでは、自分の成長を前向きにとらえる感想が多く見られました。

- 体の成長や下着の種類を知ることができて、安心しました。友達の方が成長していると思って不安だったけれど、個人差があることが分かって安心しました。
- 実際に下着を触ったので、よく分かりました。自分の成長が楽しみです。
- 今までは親に任せっきりだったけれど、これからは自分の体のことを知って一緒に下着を選んでみようと思いました。

4年「下水道授業」 神奈川県下水道公社

下水処理によって変化する水の様子や、汚れを食べてくれるクマムシなどの微生物を実際に見せていただきました。自然の力と微量の塩素によって、川の生き物が住める状態の水に浄化することを学びました。



6年「SOSの出し方教室」 小田原市健康づくり課

「ストレスはあって当たり前。心を強くするには、少しの負荷は必要です。でも、予測できないストレスには耐えられません。自分がどれくらいまでのストレスに耐えられるのか、何に対して感じるのかを知っておくことが大切です。」という講師の話を子どもたちは真剣に聞いていました。そして、大きなストレスを感じたときは、周りの人に気持ちを話す「助けられ力」が大切であること、友達のSOSをキャッチし、場合によっては大人につなぐことが自分や友達の命を守ることになると教えていただきました。



- ★強い心は何にも傷つかない心ではない。
- ★ストレスでへこんでも、しなやかに戻れる
- ★心が本当の強い心。

「ストレスを感じないようにする」や「ストレスを寄せ付けないようにする」ということではなく、ストレスを感じることを当然なことと受け止め、気晴らしの仕方を身につけたり心を回復させる力を高めたりしていくことが大切であることを学びました。

6年「小田原ちようちんづくり」 箱根小田原商工会議所

小田原ちようちん製作ボランティアの会



子どもたちのちようちんは、9月から10月にかけて開催される小田原ちようちん光アートフェア（小田原城本丸広場）で展示されます。

この他にも、小田原警察署（スクールサポーター）による低・中・高学年ごとの防犯教室、弁護士によるいじめ予防教室（5年）、市議会議場見学（6年）も行いました。

◆目標に向かって力を合わせる子◆



いいこと発見、感謝、感激プロジェクト・新キャラクタープロジェクト・下曽我ボードゲーム・カードゲームプロジェクト・下曽我紹介ポスタープロジェクトの4つのプロジェクトが立ち上がりました。

上の写真は、下曽我PR委員会のプロジェクト委員募集のポスターです。「梅の香6月号」でお知らせした児童会スローガン「絆を深める梅っ子団～仲間と協力し日本一素敵な学校にしよう」を実現するためのプロジェクトが、いよいよ始動しました。給食時間に、6年生が全校の子どもたちに募集について説明すると、中学年や低学年からは「4年生は3つのプロジェクトに参加できるね。」「私はポスターを描きたい。」という声が聞こえました。下曽我紹介ポスターチームは早速1回目のプロジェクト会議が開かれました。皆で下曽我のよさを出し合い、ポスターのイメージを膨らませていました。

自分たちの願いや思いを形にできるのは、小規模校ならではのよさと考えます。新しいことに挑戦するのは簡単なことではありませんが、その一步一步をしっかりと支えていきたいと思います。

◆運動会に向けて◆

7月10日(金)、第2回児童代表委員会が開かれ、運動会についての話し合いが行われました。特に盛り上がったのは、全校種目についてです。計画委員会の提案は毎年行っている綱引きでしたが、4年生からの「今年は玉入れをやりたい。」という意見により、全校種目の内容をもう一度考え直すことになりました。綱引きにするか、玉入れにするか、2つの競技を行うか。熱心な話し合いの結果、今年度は綱引きと玉入れを行うことになりました。

選挙権年齢や成年年齢の引き下げに伴い、学校では主権者教育がこれまで以上に必要とされています。このように、多様な意見のよさを生かして合意形成すること、学校づくりへの参画意識を高めること、自分たちが決めたことに協力して取り組み、自分たちの力で学校生活を充実・向上させているという実感をもたせることが、主権者として求められる力の育成につながっていくと考えています。

◆食堂の折り紙かざり◆

子どもたちが折った赤い魚たちを使って、折り紙ボランティアさんが「スイミー」の世界を表現してくださいました。「水中ブルドーザーのようないせえび」や「見えない糸でひっぱられている見たこともない魚たち」もいて、子どもたちは大喜びでした。



◆ご協力ください◆

- 今年度も学校閉庁日(8月10日～14日)を設けます。課業日に年次休暇を取ることが難しい状況から、長期休業に取得するようにしていますことも併せてご理解くださいますようお願いいたします。
- 子どもたちが様々な挑戦ができるよう各種コンクールの募集要項を配付いたしました。提出の際は募集要項を再度確認し、必要事項の記載漏れがないようご協力ください。
- 夏休み中の電話対応は8時30分～17時です。校舎内の見回りや外での仕事のため、職員室を開けることがありますのでご承知おきください。(9時～16時にご連絡いただけるとつながりやすいです。)

◆新しいスタッフです◆

着任者の紹介です。

スクールサポートスタッフ(SSS)は、授業準備の補助や各種プリントの印刷・配付準備、掲示、環境美化など、教員の事務補助を行います。

https://www.ed.city.odawara.kanagawa.jp/shimosoga_s



☞学校 HP もご覧ください。

学校便りをカラーでご覧いただけます。



☞行事予定はこちらからご確認ください。